

一箕寮のリノベーションデザイン提案

A2201224 廣野容子

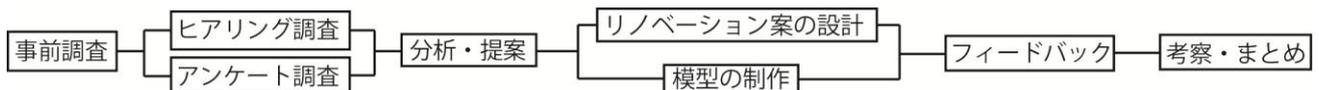
研究の背景（概要）

私自身が学生寮で生活をしている中で、今の寮にさまざまな不便を感じていた。短大の学生寮「一箕寮」は建てられてからおよそ40年以上が経っており、何度も改修されて今の寮がある。しかし今までの改修工事にも限界がある。私は住んでいるからこそ学生寮をより良いものにしたいと思った。一昨年はインテリアゼミの活動で食堂のリノベーションが行われた。そのような経験から、寮全体のリノベーションをできないかと思った。2年間寮で過ごす人たちにとって、寮での生活も大切な学生生活の思い出になる。卒業してからも寮での生活が快適だったと思えるような寮にしたい。卒業して後輩が入寮してきたときに不便がないような寮にしたい。また、勉強がしづらいということや、収納が少ない、声が響いて気になるということなどが、アンケート結果から分かった。ほかにも、寮生活を送る中で寮生同士のコミュニケーションを取りやすくし、良好な関係を築くことができるようにしたい。このような理由からこの研究テーマを設定した。

研究の目的

寮生の意見を基に現在の寮においての問題を解消し、寮生活をより快適にするための改修案を提案する。今よりも寮生同士のコミュニケーションが取りやすく、二人部屋であっても生活がしやすいことや、落ち着いて勉強ができるような空間をつくり、寮生活を改善できる提案をする。

研究計画



研究のプロセス

■アンケート調査

寮生31名にアンケートを行い、内18名から回答を得ることができた。アンケートは4つの質問に対して、以下のような回答を得た。

○各部屋の印象について

- ・二人で住むには狭い
- ・二人で暮らしていけるか心配だった
- ・薄暗く感じた
- ・荷物が入るか心配だった

○不便だと感じることにについて

- ・網戸が壊れていて虫がたくさん入ってくる
- ・声が筒抜けでテスト期間等不快に思う
- ・ヒーターが移動できないので部屋全体が暖まらない
- ・洗濯物を干すスペースと学習スペースが一緒なので、洗濯物を干してしまおうと邪魔で勉強できない
- ・学習スペースの引き戸を閉めても畳側に明かりが漏れるため相部屋の人が寝ていると起こしてしまわないか心配である
- ・畳の部屋にコンセントが1箇所しかなく不便である
- ・収納が少ない
- ・学習スペースに照明がない
- ・プライベートスペースが少ない

○不便ではないが改善したほうが良いところ

- ・部屋によって広さが異なるのが不平等、部屋の広さを統一してほしい
- ・部屋についたてがあるといい
- ・収納スペースがもう少し多いといい
- ・押し入れにハンガーパイプが元々ついているといい
- ・窓の大きさが規格外で合うカーテンがない
- ・勉強机を新しくしてほしい
- ・カーテンは備え付けられているとよかった
- ・網戸が開まらない(開かない)部屋が多い

○新しく寮が建つとしたら、部屋にどのような機能があるといいか

- ・一人部屋がいい
- ・ベッドがいい
- ・フローリングがいい
- ・もう少し広さがほしい
- ・収納がほしい
- ・ベランダのようなものがほしい
- ・学習スペースと洗濯物を干すスペースを分ける
- ・部屋の広さの統一
- ・湿気対策をちゃんとする



一箕寮の外観



部屋の様子

■ヒアリング調査

ヒアリング調査では主に共用部についての問題点について質問した。

- ・**お風呂、シャワー室、洗面所の湿気が抜けにくい**(常に結露している) ・お風呂、シャワー室が狭い
- ・近くの川の音が気になる ・ゴミを置く場所が玄関から丸見えで気になる ・虫が多い ・洗濯機が少ない
- ・冷蔵庫が少ない

このような回答を得ることができた。特に湿気に関しては、洗面所の壁が濡れて水が滴るほど酷い。

■調査結果まとめ

現在の一箕寮に不便を感じている寮生が多くいることがわかった。自分の部屋の学習スペースは照明がない上、洗濯物を干すスペースでもあるので使える時間が限られる。食堂で勉強する学生もいるが、みんなが集まっていて騒がしいため集中できないなど、寮は学習スペースがしっかりと確保されておらず、思うように勉強ができない環境である。

また、照明やコンセント、ハンガーパイプなど、生活をする上で不足している部分が多い。

調査であがった問題点のうち、特に学習スペース、物干しスペース、そしてプライベートスペースを十分に確保するデザイン案を提案する。



洗面所

提案

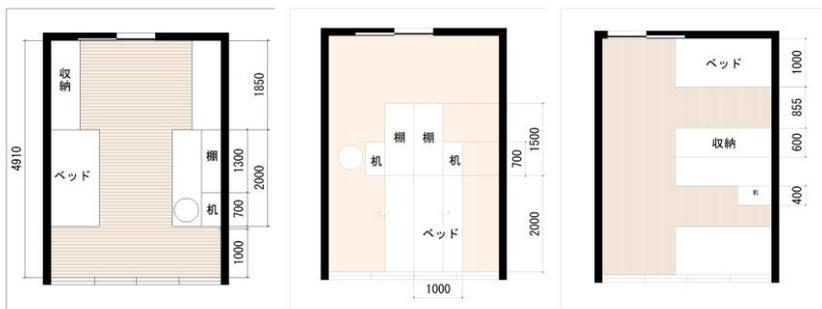
■「一箕寮のリノベーションデザイン提案」

生活するのが不便になった一箕寮を改修し、生活がしやすいようにする。寮生が快適に生活していけるようにするとともに、入寮生、受験生に住みたいと思ってもらえるようなデザイン案を提案する。各部屋のデザインについては3つの案を提案する。

○改善点

- ・まず、各部屋については全室をフローリングにし、狭い部屋でも広く使えるようにベッドを設置した。物干しスペースと学習スペースを分けた。部屋干しでも十分陽に当たるように小さなベランダを設けた。
- ・共用部については、1階はお風呂場とシャワー室の場所を移動して、食堂を拡張した。シャワー室についても数を増やした。
- ・2階には東側に洗濯室を設け、さらに北側にサンルームをつくり洗濯物を干せるようにした。サンルームの隣には談話室と学習室を設けた。
- ・学習室は自室でなくても勉強できるように、談話室は寮生のコミュニケーションの場となるようにした。北側だが、開口部を広くとり、開放感のある空間になるように考えた。
- ・全て二人部屋のままとし、個室はつくらなかった。個室にしまうと、寮生同士のコミュニケーションの場が減ってしまう。一箕寮は特に学生が自治している寮であるため、寮生同士のコミュニケーションがとても大切になってくる。

二人部屋のほうが寮内の連絡がスムーズにいくと考えたからである。



↑案①

↑案②

↑案③



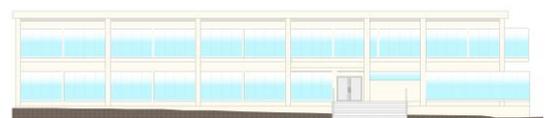
2階平面図



1階平面図



断面図



立面図

考察

はじめは自分が毎日生活している場所の改修ということで、問題点というものも慣れてしまって気づかないことがたくさんあったが、寮生へ調査を行ったことで改めて問題点を再確認・発見できた。また、もともとある建物を元にデザインを考えることは初めてで、元の形にとらわれてしまいデザイン案の検討に時間がかかってしまったが、よい経験になった。